

2006 年ファイル交換ソフト利用実態調査結果の概要

2006 年 7 月 25 日

目次

【調査方法】	1
【ファイル交換ソフトと利用者数の実態】	3
1 ファイル交換ソフトの利用率とその変化.....	3
2 ファイル交換ソフトの利用者数	4
【ファイル交換の実態】	5
1 利用されているファイル交換ソフト	5
2 ファイル交換の対象とされたコンテンツの種類	7
3 ダウンロードされたファイル数（ファイルの送受信数）	8
○ジャンル別のダウンロード数	9
○音楽ファイルのダウンロード数.....	10
○映像ファイルダウンロード数	12
4 ダウンロードに利用されたファイル交換ソフトの種類	15
5 ファイル交換の対象となったファイルの権利の有無	16
○ダウンロードした音楽ファイル名と権利の対象性	16
○ダウンロードした映像ファイル名と権利の対象性	16
○ダウンロードしたソフトウェア名と権利の対象性	17
6 共有経験率と共有フォルダ内の状況	18
○共有の経験.....	18
○共有経験のあるファイルのジャンル.....	19
○共有フォルダ内のファイルの状況	20
○共有フォルダの中にあるファイルの種類.....	21
【ファイル交換ソフトの利用意向】	22
1 ファイル交換ソフトの利用をやめた理由	22
2 ファイル交換ソフトの今後の利用意向	23
3 ファイル交換ソフトの認知状況	24
○知っているファイル交換ソフト	25

社団法人 コンピュータソフトウェア著作権協会／社団法人 日本レコード協会

社団法人 日本音楽著作権協会／株式会社 日本国際映画著作権協会

株式会社テレビ朝日／株式会社テレビ東京／株式会社東京放送

日本テレビ放送網株式会社／日本放送協会／株式会社フジテレビジョン

【調査方法】

インターネットユーザーを対象として、ファイル交換ソフトの利用実態に関して、インターネット上のWEBアンケートサイトを利用してアンケート調査を実施した。

実施時期（期間）	有効回答数（人）
2006年6月13日（火）～6月18日（日）	18,596

（回答者の属性）

性別

	全体	男性	女性	無回答
全体	18596 100.0	10748 57.8	7848 42.2	0 0.0
男性	10748 100.0	10748 100.0	0 0.0	0 0.0
女性	7848 100.0	0 0.0	7848 100.0	0 0.0

上段：実数
下段：構成比（%）

年代

	全体	10代	20代	30代	40代	50代以上	無回答
全体	18596 100.0	301 1.6	2399 12.9	6654 35.8	5798 31.2	3444 18.5	0 0.0
男性	10748 100.0	105 1.0	954 8.9	3317 30.9	3780 35.2	2592 24.1	0 0.0
女性	7848 100.0	196 2.5	1445 18.4	3337 42.5	2018 25.7	852 10.9	0 0.0

職業

	全体	学生	会社員	自営業	企業経営者	自由業	公務員	パート・バイト	家事手伝い	主婦／専業	主婦／仕事あり	無職	その他職業	無回答
全体	18596 100.0	665 3.6	8384 45.1	1451 7.8	449 2.4	639 3.4	764 4.1	1645 8.8	89 0.5	2618 14.1	526 2.8	1188 6.4	178 1.0	0 0.0
男性	10748 100.0	316 2.9	6315 58.8	1209 11.2	392 3.6	453 4.2	661 6.1	412 3.8	15 0.1	0 0.0	0 0.0	875 8.1	100 0.9	0 0.0
女性	7848 100.0	349 4.4	2069 26.4	242 3.1	57 0.7	186 2.4	103 1.3	1233 15.7	74 0.9	2618 33.4	526 6.7	313 4.0	78 1.0	0 0.0

※本書における「2002年調査」とは、(社)日本レコード協会と(社)コンピュータソフトウェア著作権協会が2002年1月に実施したファイル交換ソフトの利用実態に関するアンケート調査のことで、同年6月に「ファイル交換ソフトに関する調査報告書」として結果が公表されているものである。

※本書における「2003年調査」とは、(社)コンピュータソフトウェア著作権協会が、2003年1月に、総務省権利クリアランス実証実験と連携して、(社)日本レコード協会の協力の下で実施したファイル交換ソフトの利用実態に関するアンケート調査のことで、同年6月に結果の概要が公表されているものである。

※本書における「2004年調査」とは、(社)コンピュータソフトウェア著作権協会が、2004年1月に、総務省権利クリアランス実証実験と連携して、(社)日本レコード協会の協力の下で実施したファイル交換ソフトの利用実態に関するアンケート調査のことである。

※本書における「2005年調査」とは、(社)コンピュータソフトウェア著作権協会が、2005年1月に、総務省権利クリアランス実証実験と連携して、(社)日本レコード協会の協力の下で実施したファイル交換ソフトの利用実態に関するアンケート調査のことである。

※本書において用いられている「現在利用者」とは、平成17年7月以降にファイル交換ソフトを利用したことがある者を意味し、「過去利用者」とは、平成17年6月以前にファイル交換ソフトを利用していた者を意味する。

※本書の数値はすべて少数点第一位で公表しているが、実際の計算は小数点第二位で行っている。

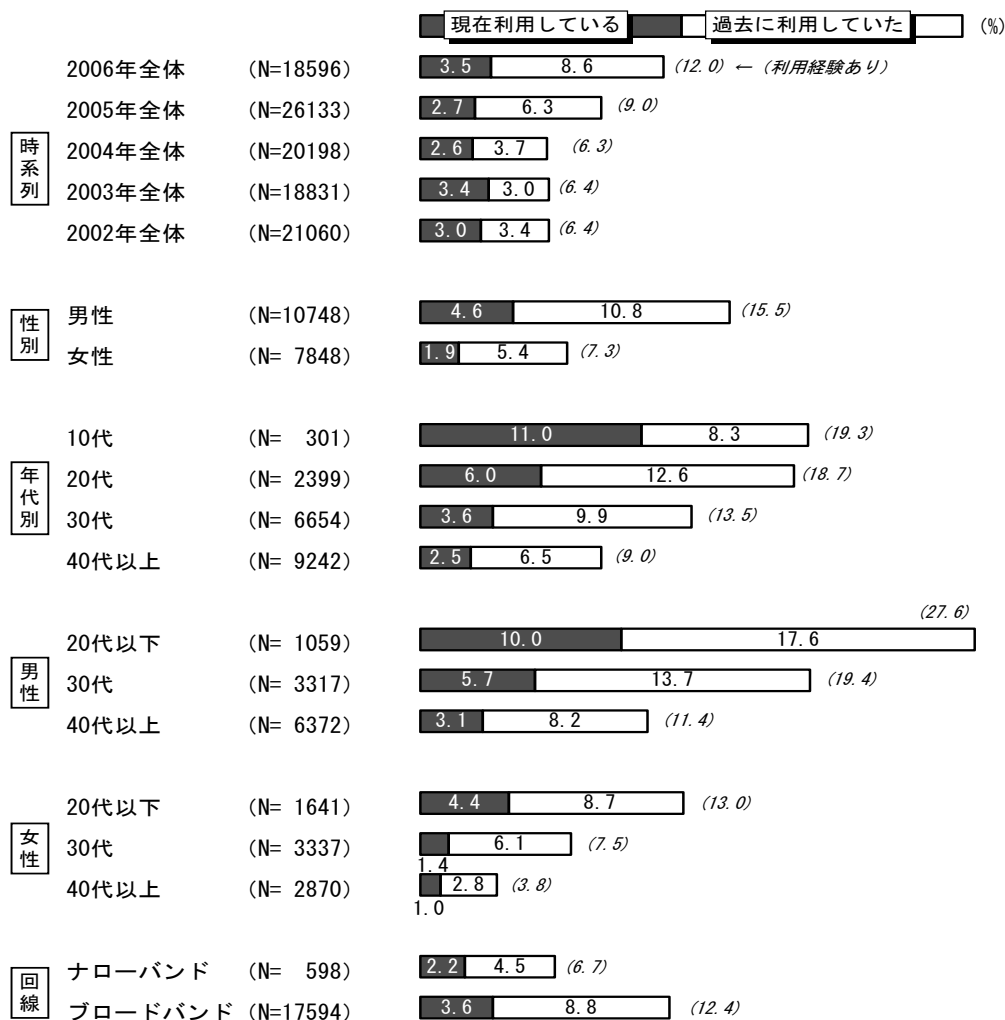
【ファイル交換ソフトと利用者数の実態】

1 ファイル交換ソフトの利用率とその変化

インターネットユーザーの3.5%がファイル交換ソフトを「現在利用」しており、「過去に利用」8.6%を合わせると、インターネットユーザーの12.0%がファイル交換ソフトの利用経験を有している。「現在利用」「過去に利用」ともこれまでで最も高く、利用経験率は初めて10%を超えた。

利用率は、女性よりも男性が高く、また男女とも若年層ほど高い。回線別では、ブロードバンドユーザーの方が利用率は高い。

※ファイル交換利用率については、毎年公表しているデータであることから、より正確な数値が求められる。小数点第2位までの利用率は次の通りである。「現在利用」3.47%、「過去利用」8.55%で、両者を足した「利用経験者」は12.02%。



2 ファイル交換ソフトの利用者数

平成 18 年 2 月末現在のデータである「インターネット白書 2006」（平成 18 年 6 月 21 日／インプレス R&D 発行）をもとに、ファイル交換ソフトの利用者の推計を行った。

同データによると平成 18 年 2 月末現在のわが国におけるインターネット利用者数（自宅の機器を利用する接続利用者数）は、5,060.21 万人と推定される。

本調査のファイル交換ソフト利用者が「現在利用者」3.5%（現在利用者 645 人÷調査標本数全体 18,596 人）、「過去利用者」8.6%（過去利用者 1,590 人÷調査票本数全体 18,596 人）であることから、以下の計算により現在利用者が約 175.51 万人、過去利用者が約 432.66 万人であり、両者を合算したファイル交換利用経験者は約 608.17 万人となる。

(※) 上記の算出方法は以下のとおりである。

■ 現在利用者

約 5,060.21(万人)×(現在利用者 645 人÷調査標本数全体 18,596 人)=約 175.51 万人

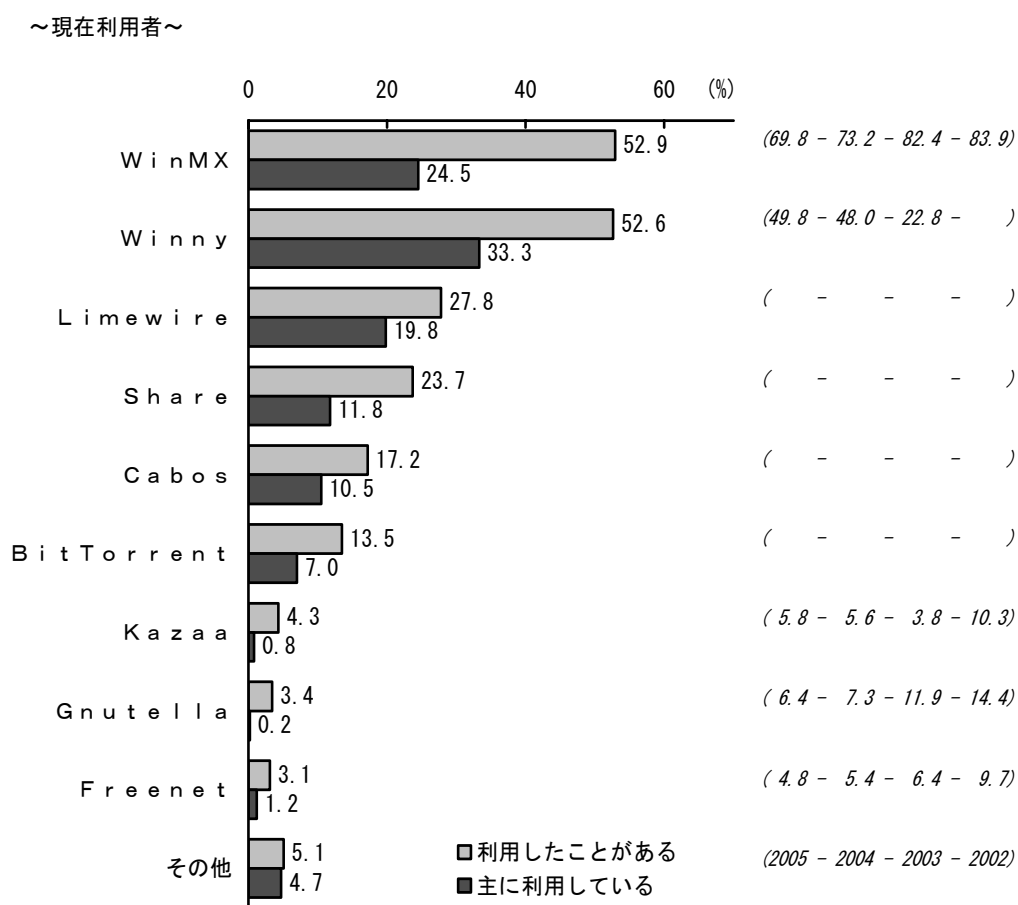
■ 過去利用者

約 5,060.21(万人)×(過去利用者 1,590 人÷調査標本数全体 18,596 人)=約 432.66 万人

【ファイル交換の実態】

1 利用されているファイル交換ソフト

現在利用者が今までに利用したことがあるファイル交換ソフトは「WinMX」52.9%、「Winny」52.6%でほぼ同率で並んでいるが、主に利用しているソフトでは、「Winny」33.3%（2005年調査33.2%）、「WinMX」24.5%（2005年調査54.8%）、「Limewire」19.8%（2005年調査データなし）の順となった。

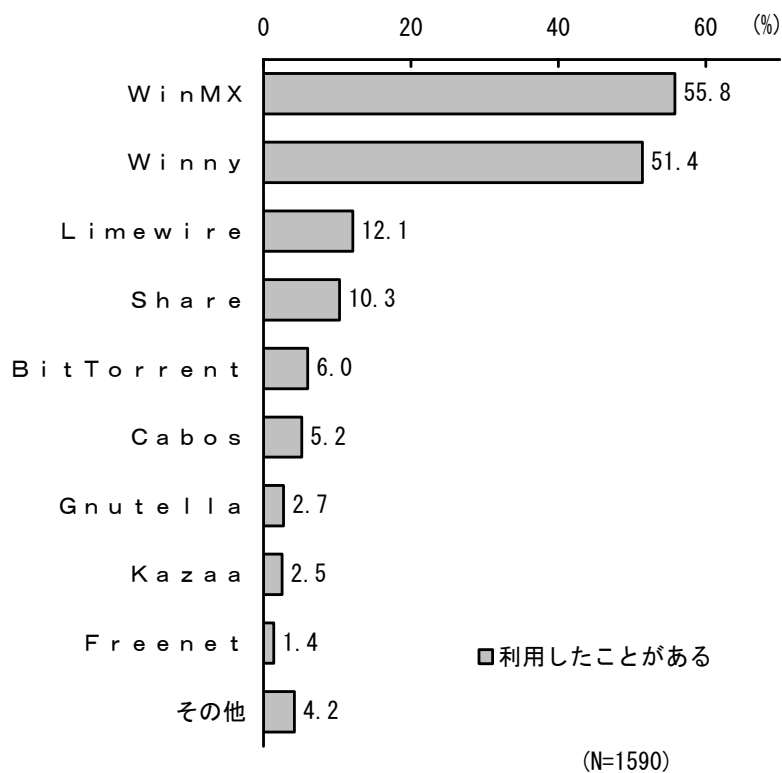


(N=645)

現在利用者の
 「利用したことがある」
 比率

過去利用者のこれまでに利用経験のあるファイル交換ソフトは、「WinMX」が「Winny」を若干上回っている。利用率は、両ソフトとも現在利用者とはほぼ同レベルである。

～過去利用者～



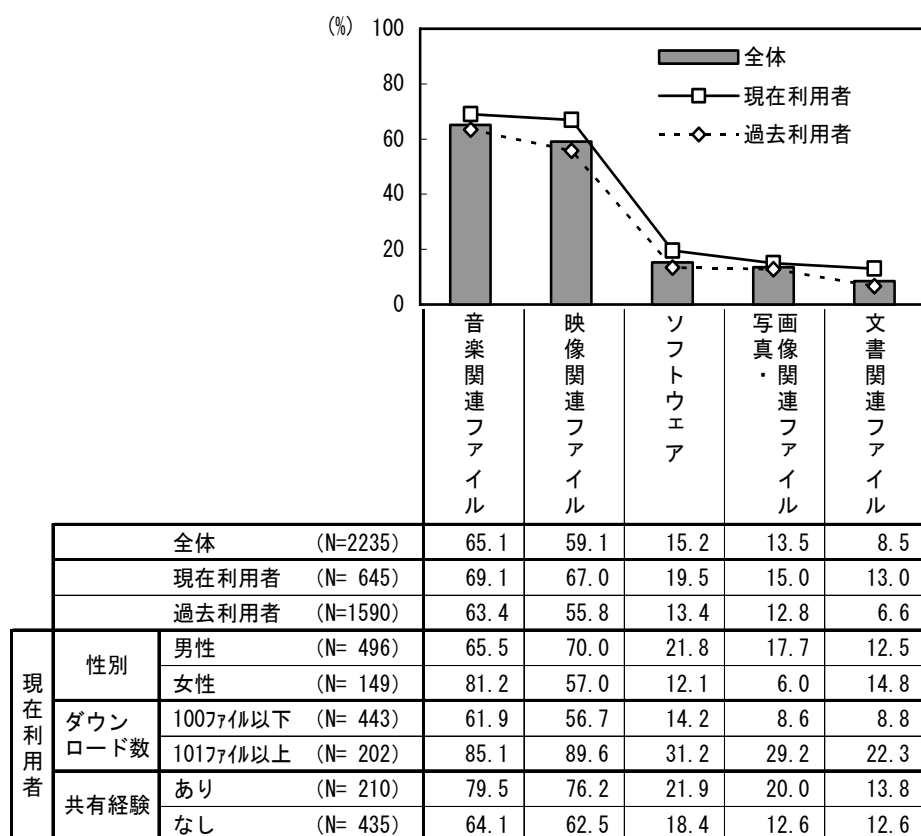
2 ファイル交換の対象とされたコンテンツの種類

ファイル交換ソフトを利用してダウンロードしたことがあるファイルのジャンルを尋ねた。

ダウンロードをしたことがあるファイルのジャンルは現在利用者、過去利用者とも「音楽関連」が最も多く、「映像関連」が僅差で次いでいる。

現在利用者について、性別では、女性は「音楽関連」のダウンロード経験が81.2%と特に高いが、男性は「映像関連」が「音楽関連」をわずかに上回っている。

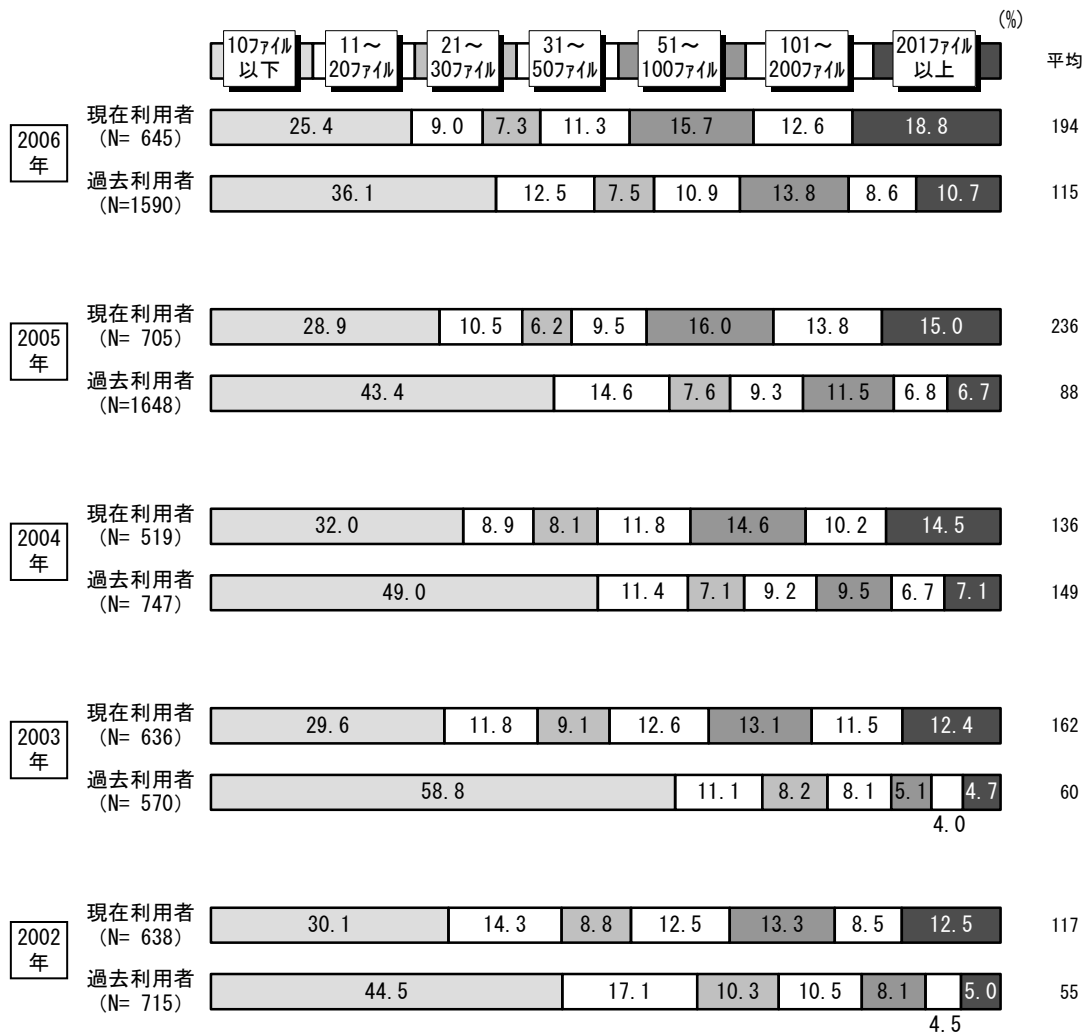
ダウンロード数別では、101ファイル以上のユーザーは、各ジャンルともダウンロード経験率の高さが目立っている。



3 ダウンロードされたファイル数（ファイルの送受信数）

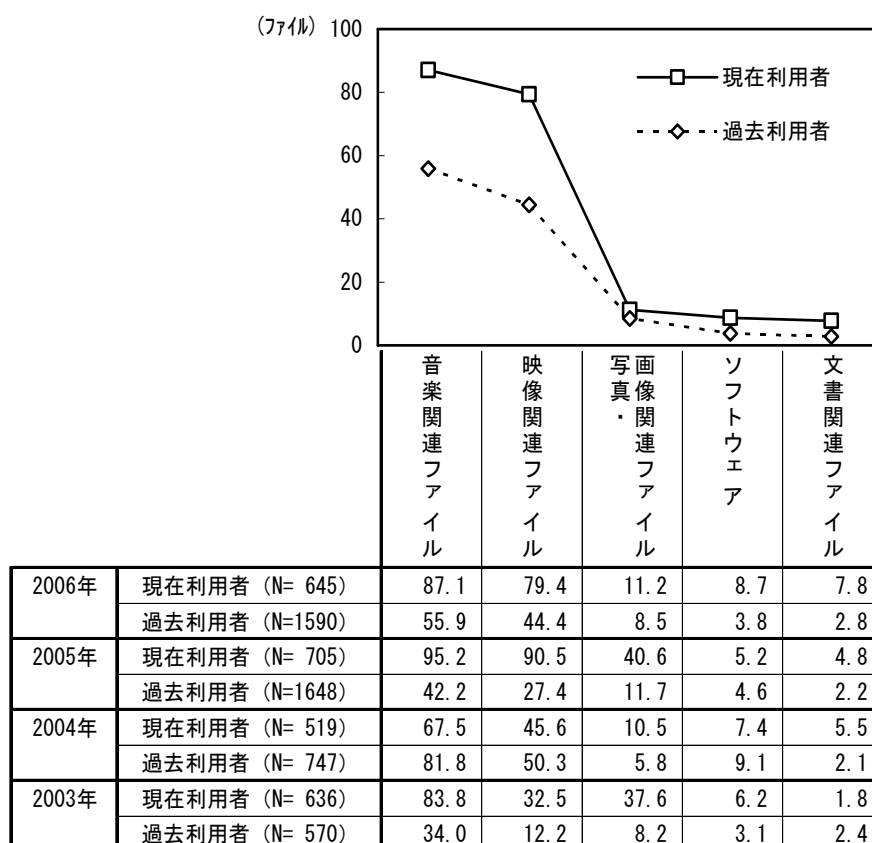
現在利用者が“過去1年間”にダウンロードしたファイル数の平均は「194 ファイル」。一方、過去利用者が“これまでに”ダウンロードしたファイル数は「115 ファイル」。

現在利用者は、過去4回の調査と比較すると「51 ファイル以上」が増加傾向にあるが、平均は2005年調査を下回っている。



○ジャンル別のダウンロード数

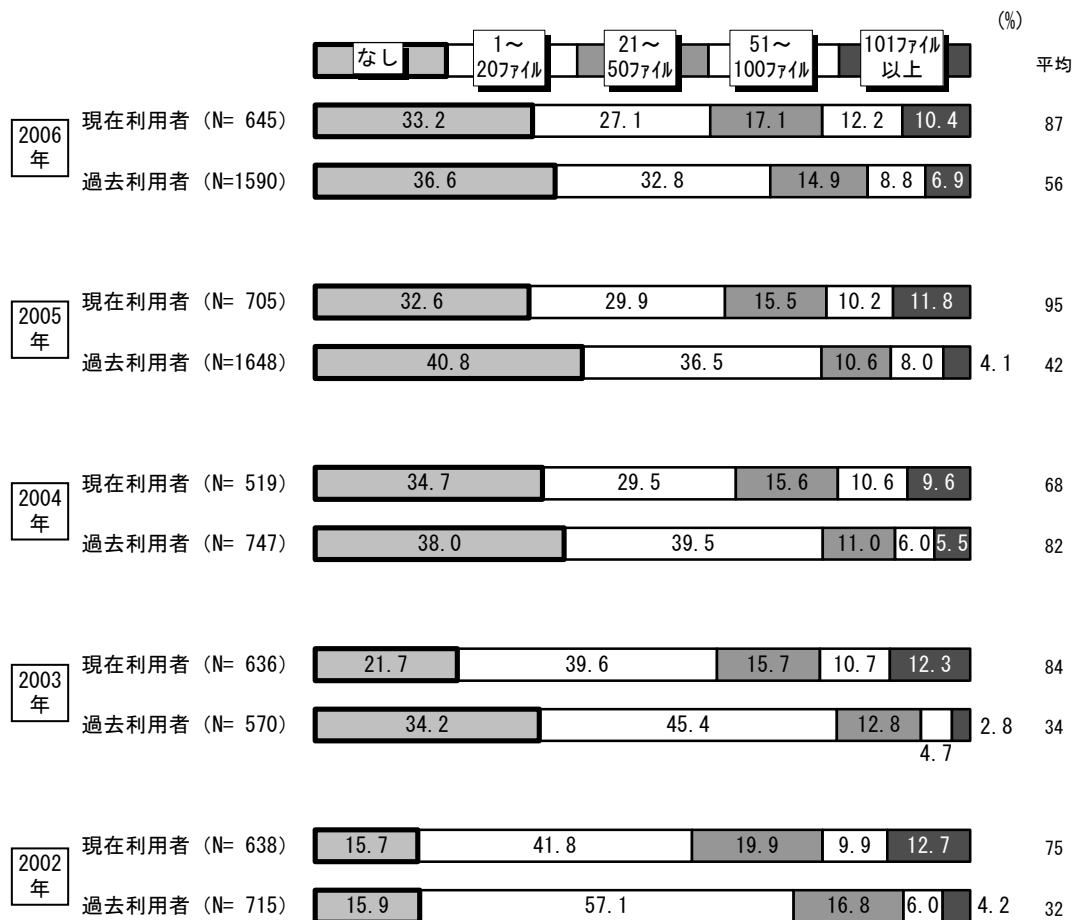
ジャンル別にダウンロード数をみると、現在利用者は「音楽関連ファイル」のダウンロード数が平均 87.1 ファイルで最も多く、次いで「映像関連ファイル」の 79.4 ファイル。上位の「音楽関連ファイル」「映像関連ファイル」「写真・画像関連ファイル」のダウンロード数は 2005 年調査を下回り、特に「写真・画像関連ファイル」の下げ幅が大きい。一方、現在利用者の「ソフトウェア」「文書関連ファイル」のダウンロード数は若干増加している。



※現在利用者は「過去1年間に」ダウンロードしたファイル数
過去利用者は「これまでに」ダウンロードしたファイル総数

○音楽ファイルのダウンロード数

ファイル交換ソフトを現在利用している人の約3分の2が、過去1年間に音楽ファイルのダウンロード経験があり、現在利用者の平均ファイル数は87ファイルで、2005年調査をやや下回っている。

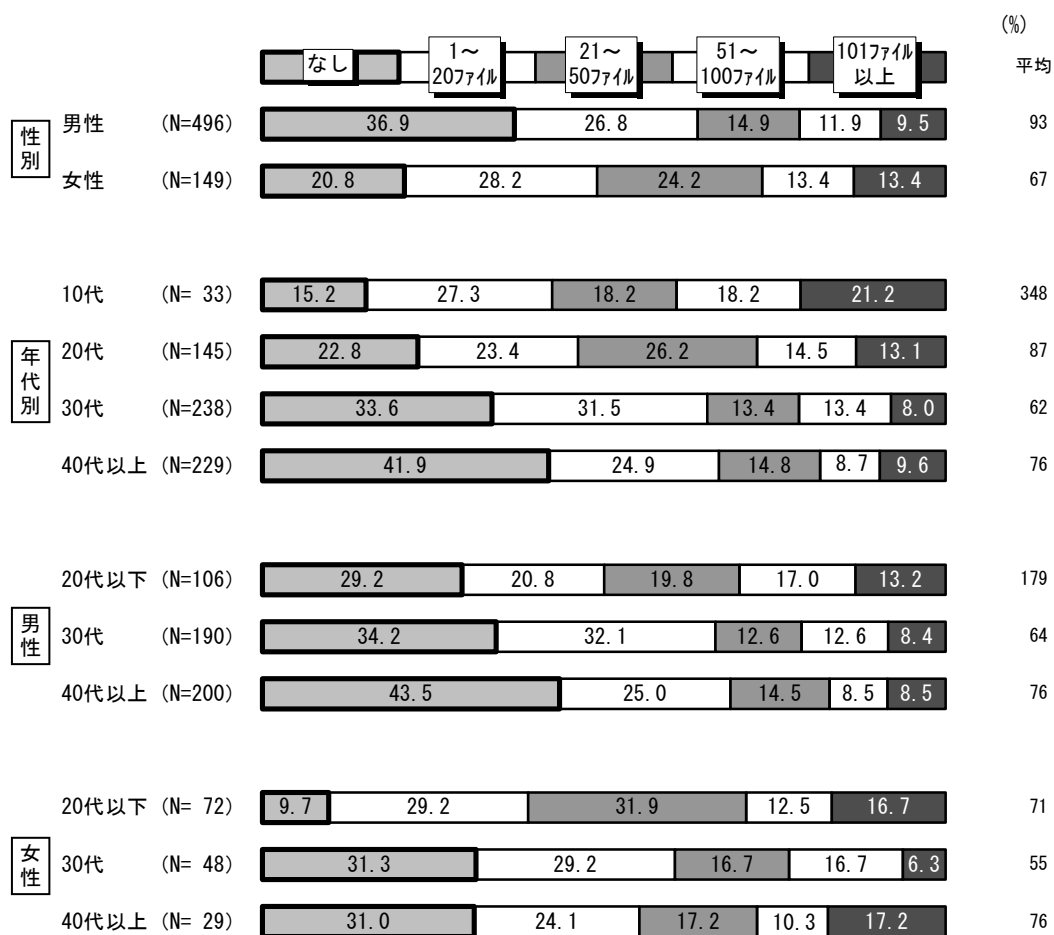


* ベースはファイル交換ソフトの利用経験がある人。

※2004年～2006年の現在利用者は「過去1年間に」ダウンロードした音楽関連ファイル数
他は「これまでに」ダウンロードした音楽関連ファイル総数

性別では、ダウンロード経験率は、女性は79.2%を占めているのに対し、男性は63.1%にとどまるが、ダウンロードした音楽ファイル数の平均では男性の方が上回っている。

年代別では、ダウンロードしたファイル数の平均は、10代が突出しており、男女ともダウンロード経験率は20代以下が最も高い。

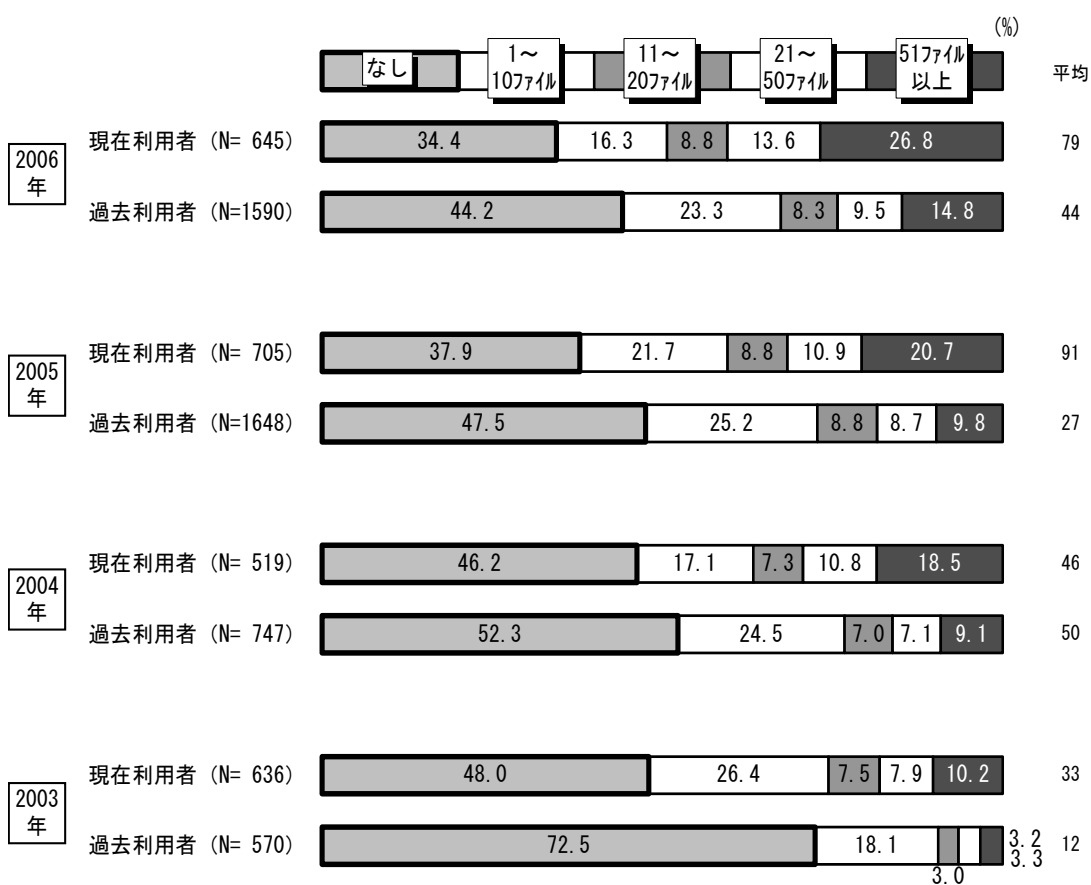


* ベースはファイル交換ソフトの現在利用者.

○映像ファイルダウンロード数

ファイル交換ソフトを現在利用している人のほぼ3分の2の65.6%が映像ファイルのダウンロード経験があり、平均79ファイルを過去1年間にダウンロードしている。過去利用者也映像ファイルのダウンロード経験者も過半数を占めるが、ダウンロードしたファイル数は平均44ファイルにとどまっている。

時系列でみると、ダウンロード経験率は、現在利用者、過去利用者ともに増加傾向が続いている。

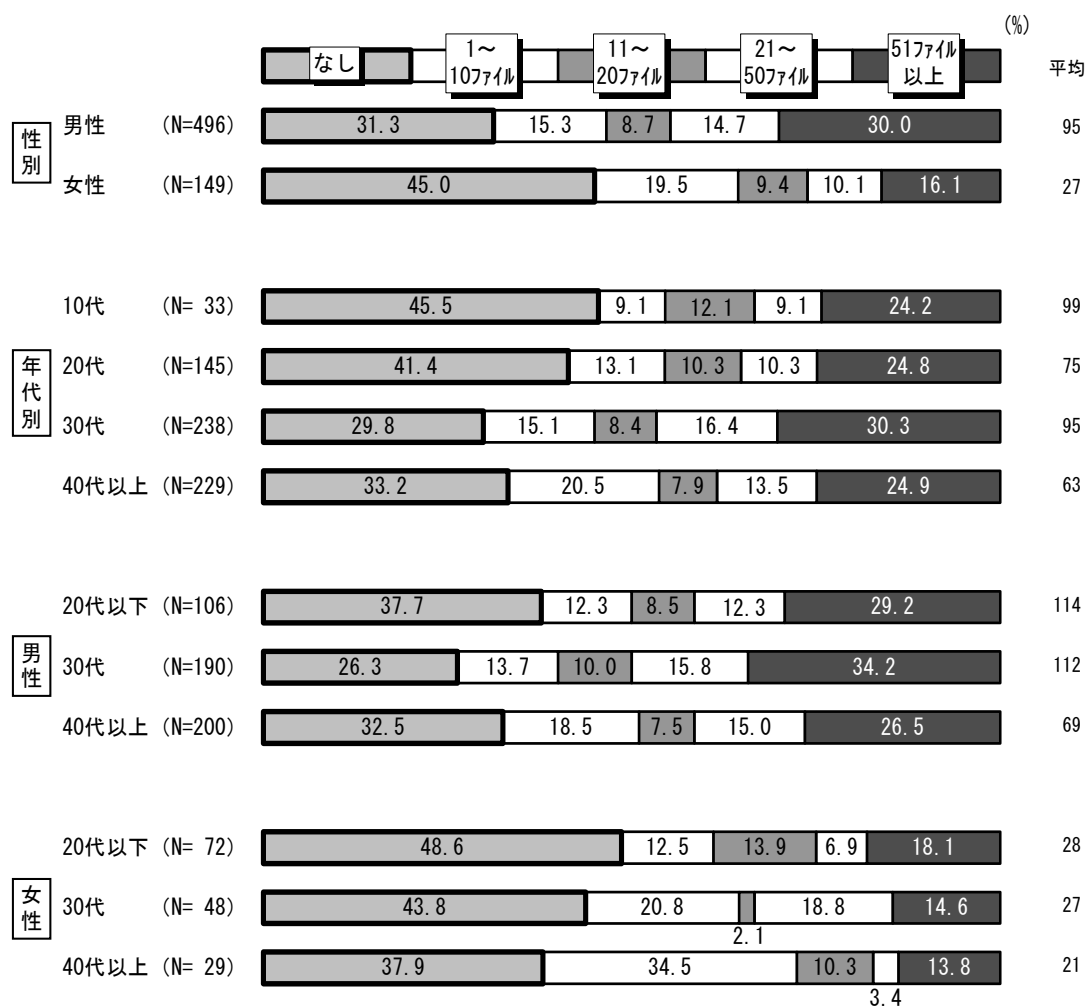


*ベースはファイル交換ソフトの利用経験がある人。

※現在利用者は「過去1年間に」ダウンロードした映像関連ファイル数
過去利用者は「これまでに」ダウンロードした映像関連ファイル総数

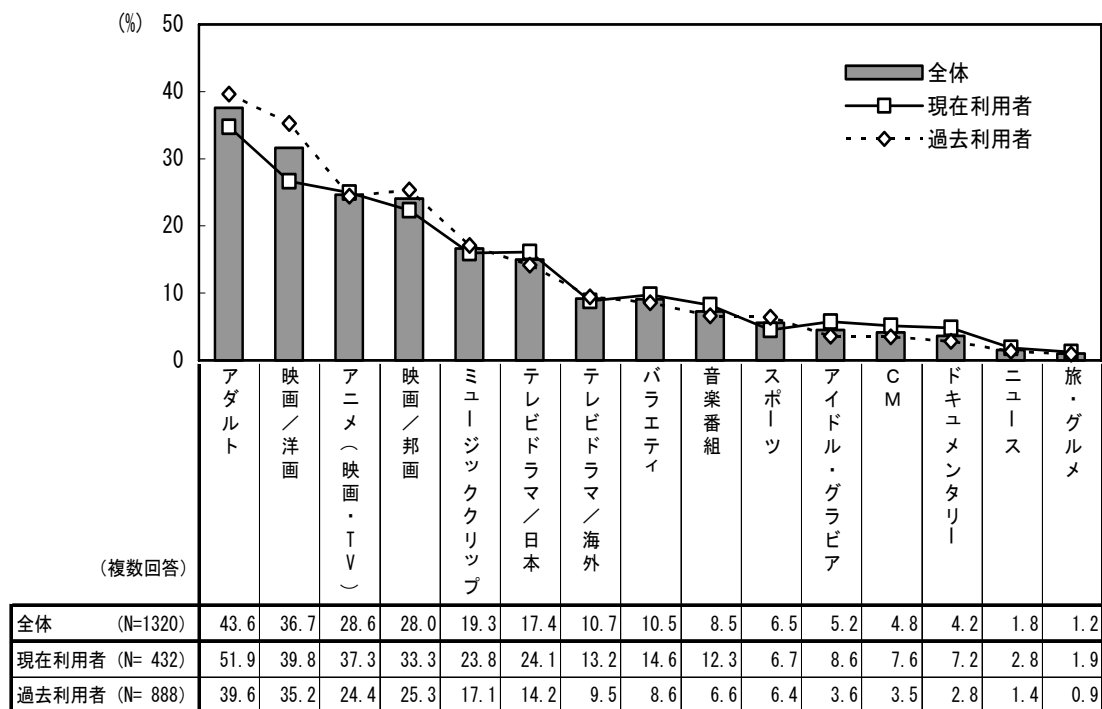
現在利用者の性別で見ると、映像ファイルのダウンロード経験率は女性の55.0%に対し男性は68.7%と10ポイント以上高く、ダウンロード数でも圧倒的に男性の方が多い。

年代別では、男性は30代のダウンロード経験率が最も高く、一方、女性は年代が上がるにつれ上昇している。



*ベースはファイル交換ソフトの現在利用者.

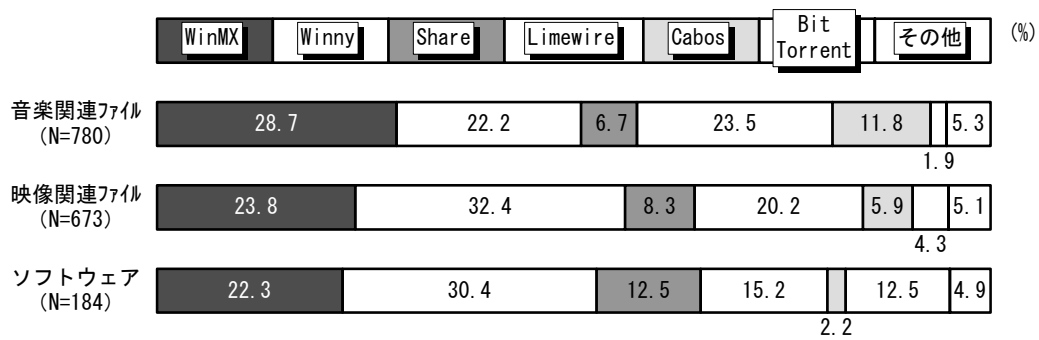
これまでにダウンロードしたことがある映像ファイルのジャンルをみると、現在利用者、過去利用者とも「アダルト」がトップ。いずれのジャンルも、過去利用者に比べ現在利用者のダウンロード率が高くなっている。



4 ダウンロードに利用されたファイル交換ソフトの種類

音楽関連ファイルでは「WinMX」が最も多く、更に「Limewire」が「Winny」を抑えて2位となった。

一方、映像関連ファイルやソフトウェアは、「Winny」の利用がトップで、次いで「WinMX」。これらの2ブランドに続くのが「Limewire」で、いずれのジャンルでも3位に入っている。



*回答ベース。

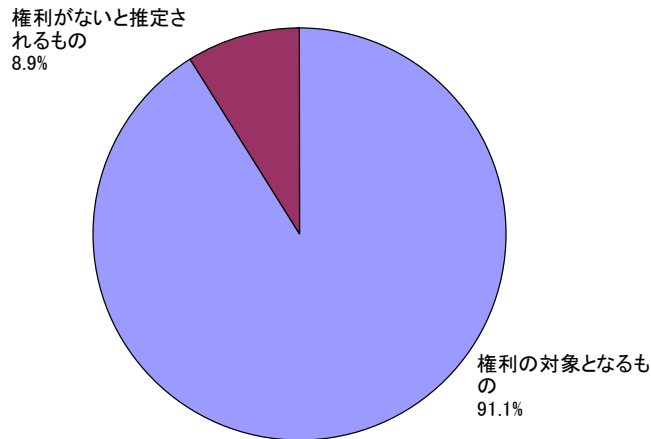
5 ファイル交換の対象となったファイルの権利の有無

本調査では、最近ダウンロードした音楽ファイル名（アーティスト名を含む）、映像ファイル名、ソフトウェア名を3ファイルまで具体的に記載してもらった。

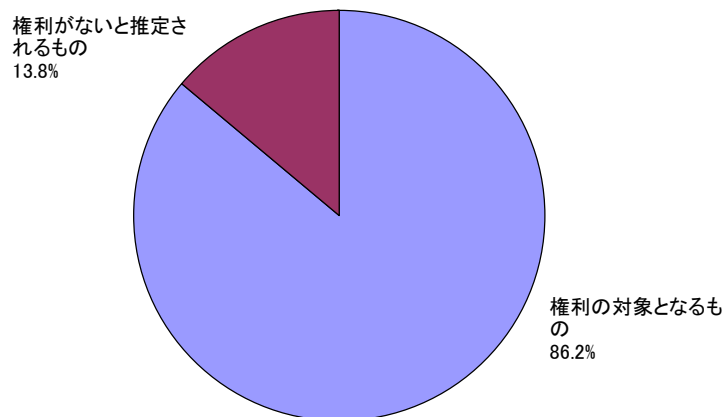
そのファイル名から推定されるコンテンツについて、著作権等の「権利の対象となる」と推定されるものと「権利がない」と推定されるもの（「不明なもの」、フリーウェアと推定されるものを含む）の割合は以下の通りであった。

※正確には、「権利の対象となるもの」は、「権利の対象であり、かつ権利者の許諾がないと推定されるもの」であり、「権利がない」とは、「権利がないと推定されるもの」又は「権利の有無又は権利者の許諾の有無が不明なもの」という意味である。

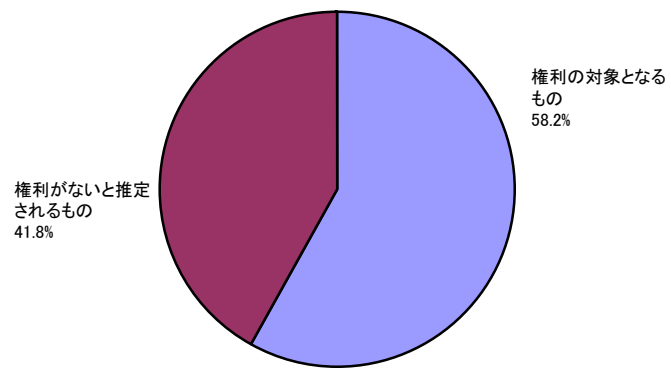
○ダウンロードした音楽ファイル名と権利の対象性



○ダウンロードした映像ファイル名と権利の対象性



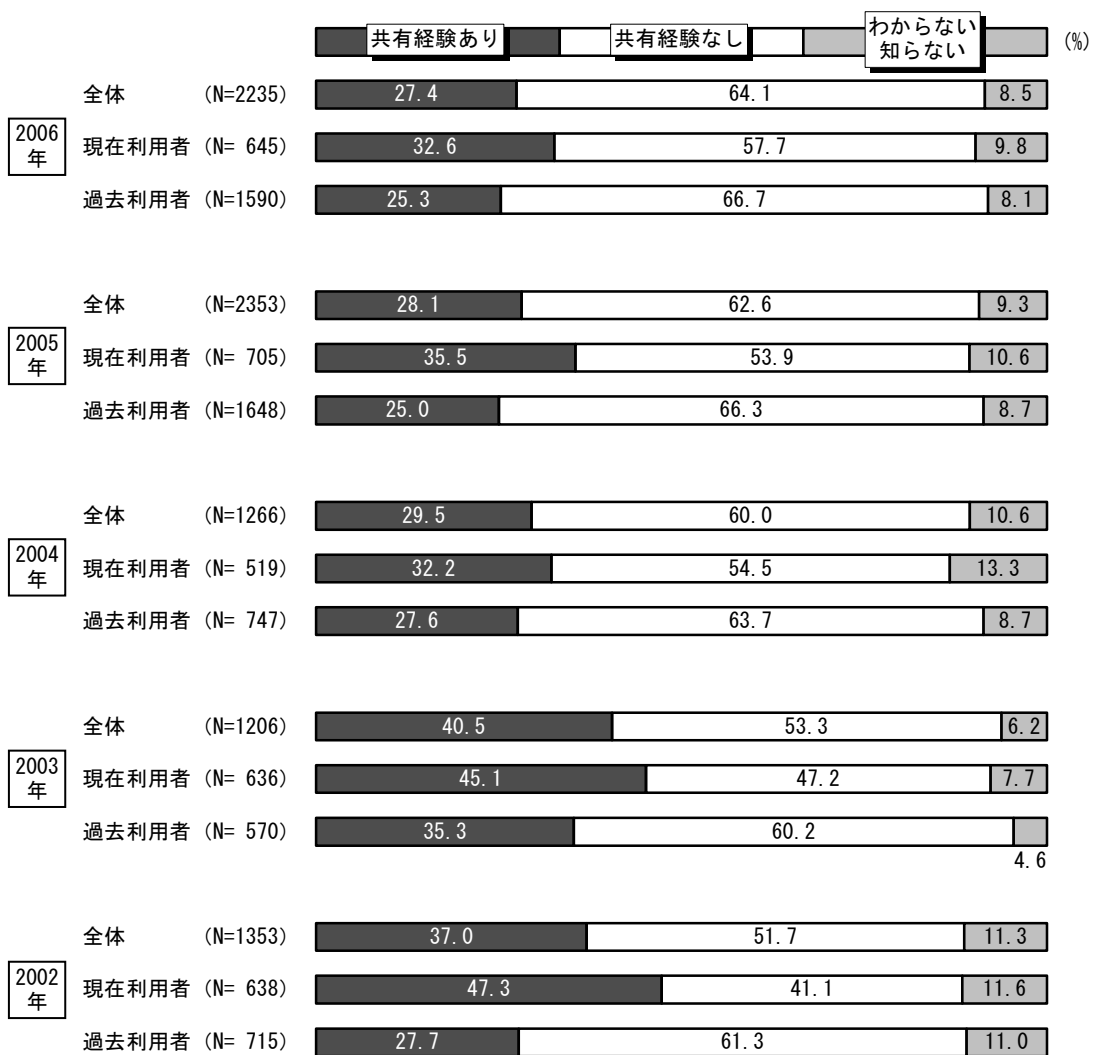
○ダウンロードしたソフトウェア名と権利の対象性



6 共有経験率と共有フォルダ内の状況

○共有の経験

ファイル交換ソフトを利用したファイルの共有（アップロード）の経験の有無を尋ねた。
 現在利用者はほぼ3分の1の32.6%が「共有経験あり」と回答し、2005年調査より若干低下している。「わからない／知らない」層は1割程度。



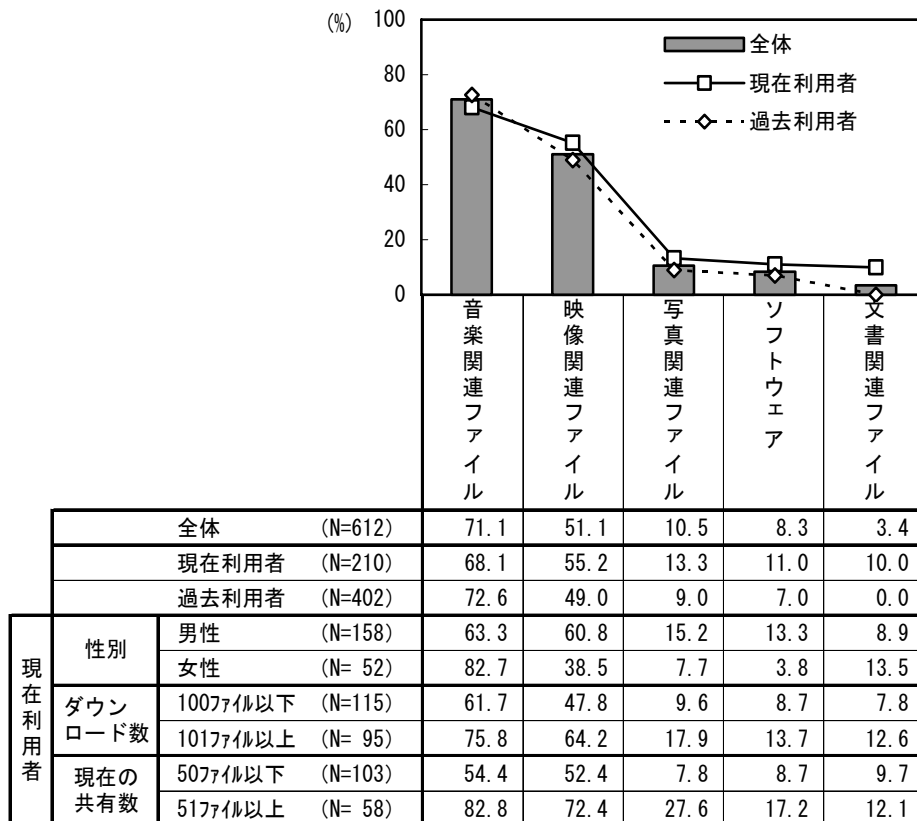
○共有経験のあるファイルのジャンル

これまでにファイル交換ソフトを利用して共有したことがあるファイルのジャンルを尋ねた。

現在利用者、過去利用者とも、ファイル共有経験者の約7割が「音楽関連ファイル」の共有経験をあげ最も多く、「映像関連ファイル」も5割前後で続くが、他のジャンルのファイル共有率は総じて低い。

性別では、ダウンロード同様、「音楽関連」「文書関連ファイル」は女性の方が高く、「映像関連ファイル」など他ジャンルは男性の方が上回っている。

ダウンロード数別、現在の共有数別でみると、ともにファイル数が多い層の方が、いずれのジャンルも共有経験率が高い。

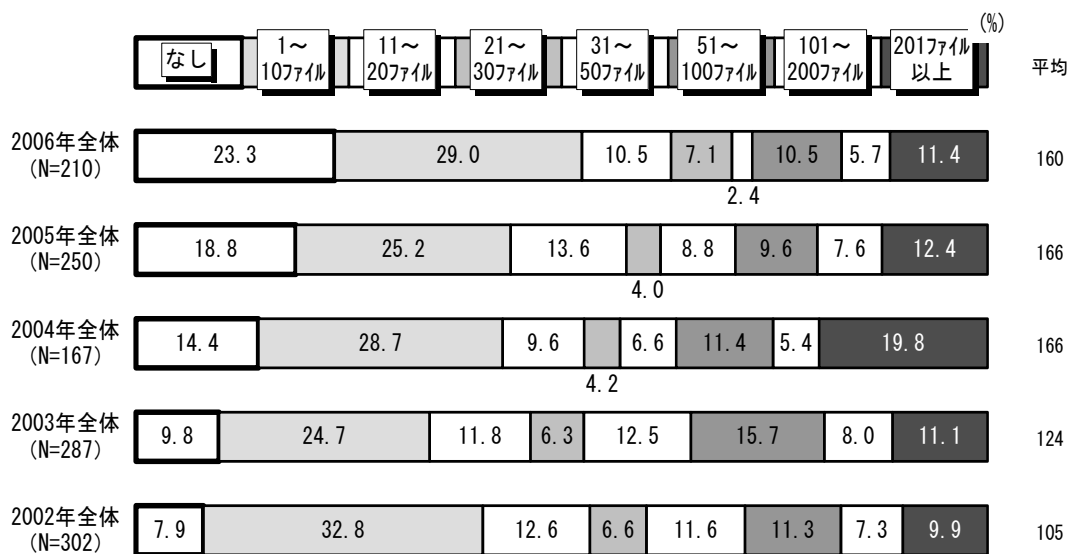


*ベースはファイル共有の経験がある人。

○共有フォルダ内のファイルの状況

調査時に、共有フォルダに入っていたファイルのジャンルとファイル数を尋ねた。

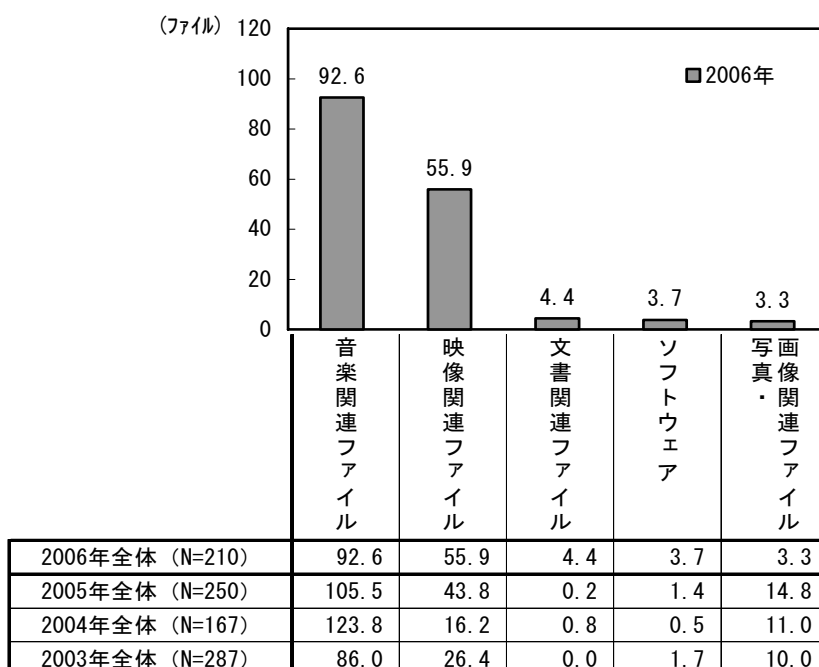
ファイル共有経験のある人の76.7%が、調査時に共有フォルダの中に何らかのファイルが入っていると回答しており、平均は160ファイル。平均ファイル数は、2005年とほぼ同レベルだが、「なし」の比率の増加傾向は続いている。



*ベースはファイル共有の経験がある人。

○共有フォルダの中にあるファイルの種類

共有フォルダの中にあるファイルをジャンル別にみると、「音楽関連ファイル」が 92.6 ファイルで最も多い。「音楽関連ファイル」は 2005 年調査を下回っているが、「映像関連ファイル」は引き続き増加している。

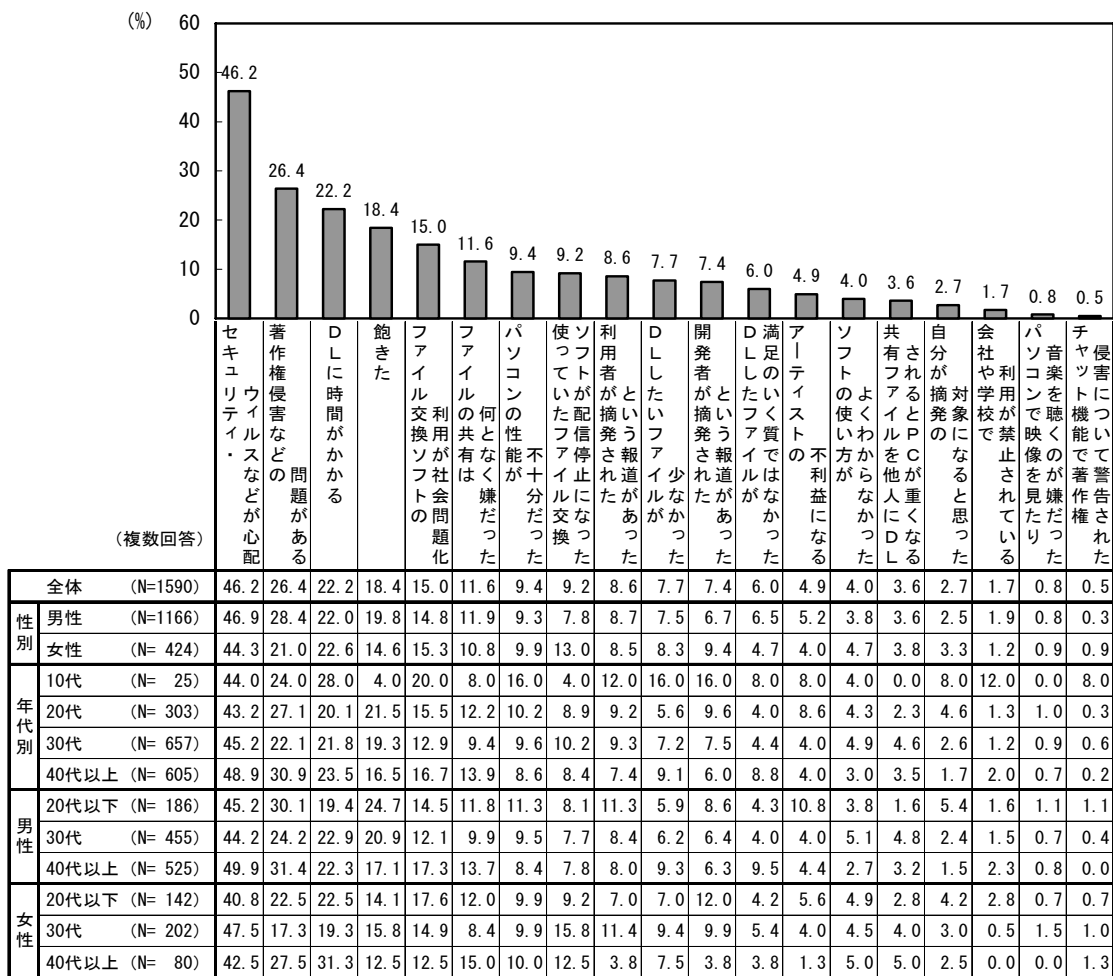


【ファイル交換ソフトの利用意向】

1 ファイル交換ソフトの利用をやめた理由

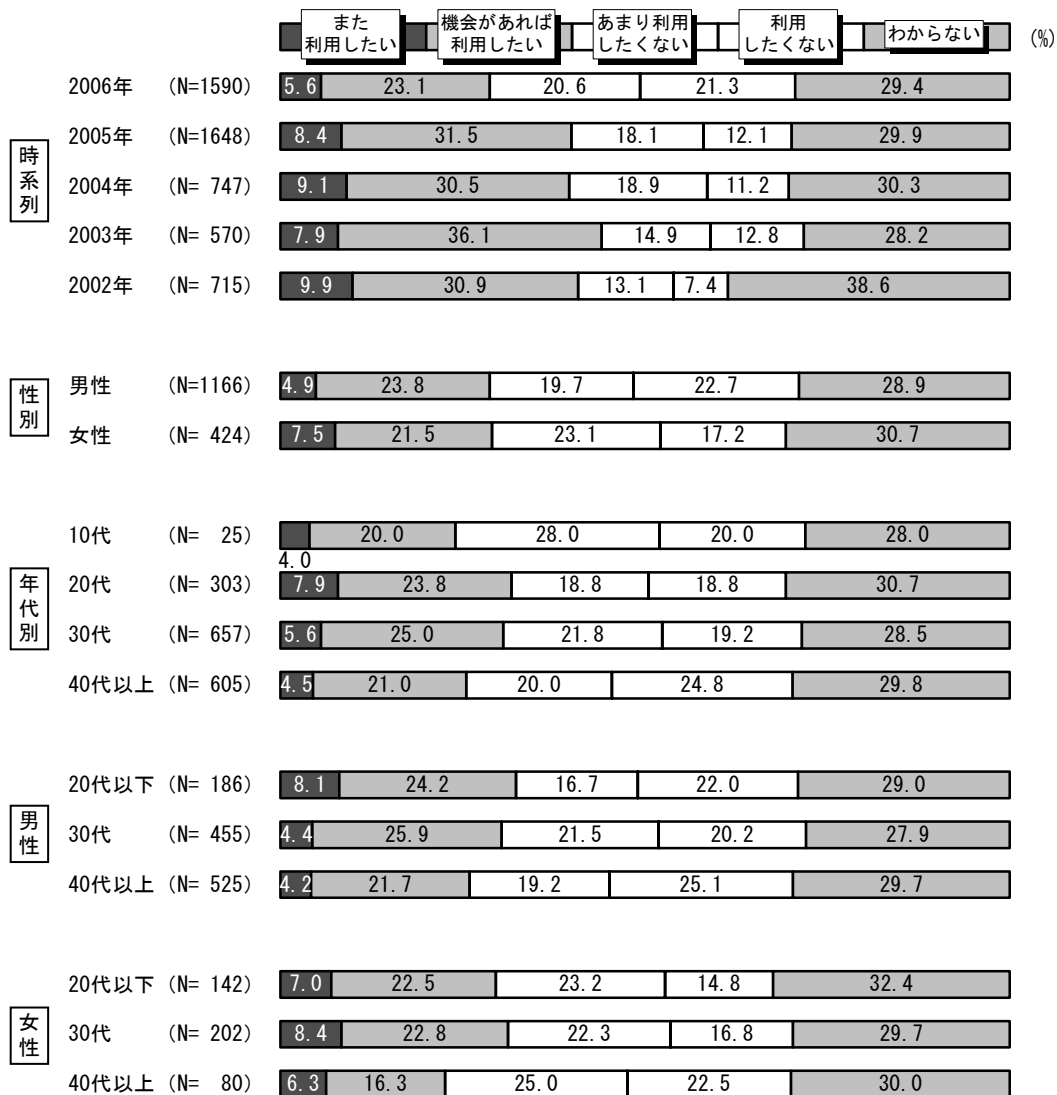
過去利用者がファイル交換ソフトの利用をやめた理由を尋ねた。

「セキュリティ・ウイルスなどが心配」（2005年調査 30.5%→今回調査 46.2%）が比率を大きく伸ばし、前回トップの「著作権侵害などの問題がある」（2005年調査 31.3%→今回調査 26.4%）を大きく上回っている。なお、「セキュリティ・ウイルスなどが心配」は、性別、年代別のいずれの層をみても最大の理由となっている。



2 ファイル交換ソフトの今後の利用意向

過去利用者の5.6%が「また利用したい」、23.1%が「機会があれば利用したい」と考え、3割弱が現在利用していないにも関わらず今後の利用意向を有しているが、2005年調査からは大幅に減少し、これまでで最も低い比率となっている。一方、「あまり利用したくない」「利用したくない」の非利用意向層は4割以上と大きく増加している。性別による差はあまりみられないが、年代別では、男女とも40代以上で利用意向者の比率が最も低くなっている。

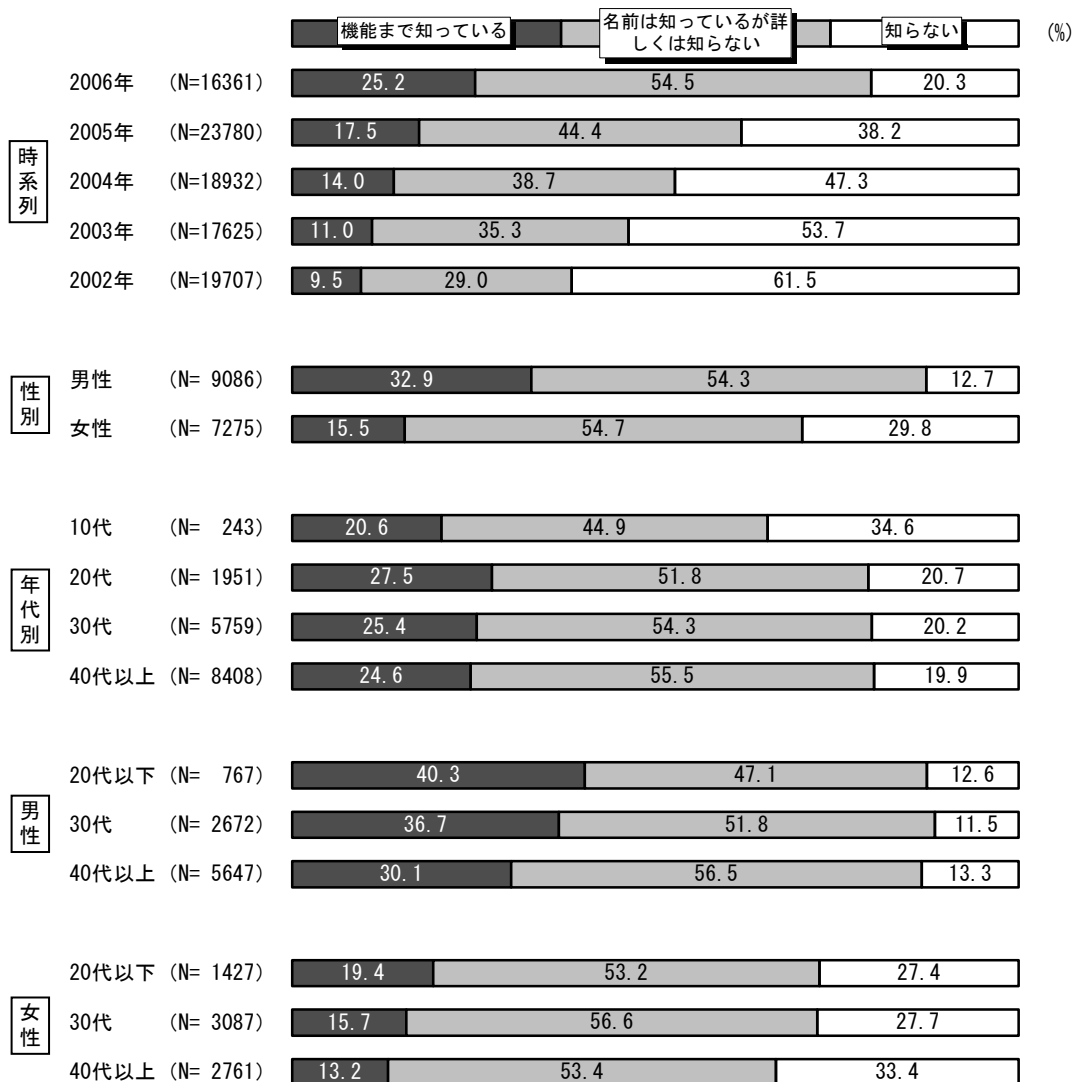


3 ファイル交換ソフトの認知状況

ファイル交換ソフトを利用したことがない人に、認知程度を尋ねた。

「機能まで知っている」人は25.2%、「名前は知っているが詳しくは知らない」の54.5%を合わせると約8割がファイル交換ソフトの存在を知っており、時系列でみると、この1年間での認知レベルの伸びが特に大きい。

性別でみると、女性よりも男性の認知度が高く、年代別では男女とも若年層ほど認知度が高く、男性の20代以下は「機能まで知っている」が4割を超えている。

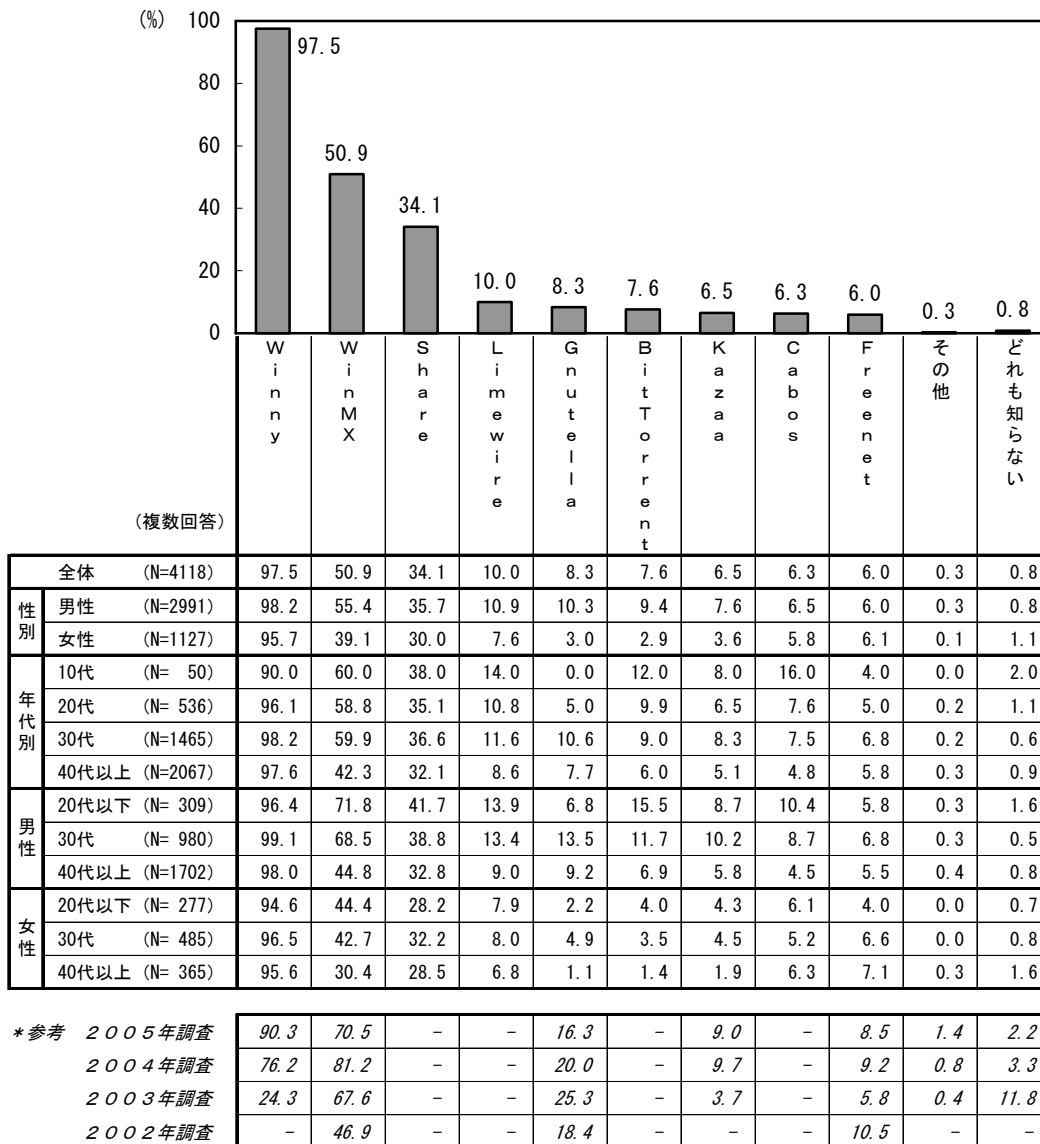


○知っているファイル交換ソフト

機能まで知っている人に、知っているファイル交換ソフトを尋ねた。

「Winnny」の認知度は2005年調査からさらに比率が上昇し、ほぼ全員の97.5%。「WinMX」は2004年調査のピーク時から30ポイントも低下している。なお、「どれも知らない」は0.8%のみ。

性別で見ると、男性の方が大半のソフトで認知度が高い。



*ベースはファイル交換ソフトを「機能まで知っている」人。